



BANK OF JAPAN

ADB I-Japan-OECD High-Level Global Symposium

Promoting Better Lifetime Planning through Financial Education

ADB I・OECD・日本 ハイレベル・グローバル・シンポジウム
—金融教育を通じたより良いライフプランニングの促進—

2015年1月22日(木)、23日(金)

霞が関ビル8階 ADB I会議室 B・C



プログラム

主催：金融庁、OECD、アジア開発銀行研究所、日本銀行

協賛：全国銀行協会、日本証券業協会、生命保険協会、日本損害保険協会



Japan Securities Dealers Association



The Life Insurance Association of Japan



The General Insurance Association of Japan

1月22日(木)

10:00 – 10:20

開会挨拶

- 越智 隆雄 内閣府大臣政務官
- 玉木 林太郎 OECD 事務次長

10:20 – 11:50

セッション1

金融教育で成し遂げられること—金融教育に関する研究、よい慣行と事例から

モデレーター

ジェ・ハ・パーク アジア開発銀行研究所副所長

スピーカー

- フロレアン・メッシー OECD 金融企業局金融課課長代理、OECD/INFE 事務局長
国際的な良い慣行と効果的な金融教育のアプローチの概要
- 吉野 直行 アジア開発銀行研究所所長、金融庁金融研究センター顧問
ガネシャン・ウィグナラジャ アジア開発銀行研究所研究部長
ピーター・モーガン アジア開発銀行研究所シニアリサーチコンサルタント
なぜアジアにおいて金融教育が必要なのか？
- デビッド・ポイル ニュージーランド金融リテラシーと退職年金機構
ニュージーランドの国家戦略；人生の「次のステージ」への新たな取組み

コメンテーター

- スー・ルイス 金融サービス消費者パネル議長

論点

このセッションでは、最近の OECD/INFE（金融教育に関する国際ネットワーク）で議論された、より良い生涯設計を促進するために効果的な金融教育の良い慣行、研究及び事例を提示し、その重要性、成果・効果について議論を行う。良い慣行については、金融教育のための国家戦略の策定も含めて、各国の事例を紹介する。

Background documents

- Draft OECD report on financial education in Asia
- OECD/INFE High-level Principles on National Strategies for Financial Education
- Advancing National Strategies for Financial Education, A Joint Publication by Russia's G20 Presidency and the OECD

12:00 – 13:30

休憩

13:30 – 15:00

セッション2

効果的な年金計画のための金融教育—課題と解決策—

モデレーター

エルサ・フォルネロ トリノ大学教授、年金・福祉政策研究センター

スピーカー

- アデル・アトキンソン OECD ポリシーアナリスト
OECD の退職貯蓄に関する金融教育調査の結果から
- アンナ・ゼレンツソーバ ロシア財務省金融リテラシー・グループ長、金融包摂に関するグローバル・パートナーシップ共同議長
ロシアにおける年金計画のための効果的な金融教育
- ジュリー・アグニュー ボーリー金融高度研究センター所長、米国メーソンビジネススクール准教授
個人の年金投資と金融リテラシーの役割
- マイルズ・ラービー オーストラリア証券投資委員会、金融教育グループ長
オーストラリアにおける効果的な年金計画を支える金融教育の役割

論点 本セッションでは、OECD/INFE や専門家会合による長期的な貯蓄と投資のための金融教育に係る報告書等に基づき、個人がリタイアメント・プランを作成し、最適な年金の選択を支援するための金融教育の役割について考える。各国の事例や経験も交えながら、個人が直面する様々な問題を紹介し、それに対して各国政府がどのように対応しているのか説明する。

Background documents

- Improving Financial Education and Awareness on Insurance and Private Pensions, OECD, 2008
- OECD Working Paper, Financial education, savings and investments, 2008
- OECD Working Paper: Lessons from National Pensions Communication Campaigns, 2012
- OECD Working Paper, Research and literature on financial education for long-term savings and investments, 2014 (Forthcoming)

15:00 – 15:20 コーヒー・ブレイク

15:20 – 17:00 セッション3
ターゲット層を定めた効果的な金融教育

モデレーター フロレアン・メッシー OECD 金融企業局金融課課長代理、OECD/INFE 事務局長

日本のケース

- 岡崎 竜子 日本銀行 情報サービス局 金融広報課 金融教育グループ長
日本における金融教育の概要
- 吉野 直行 アジア開発銀行研究所所長、金融庁金融研究センター顧問
- 家森 信善 神戸大学経済経営研究所教授
中学校、高等学校における金融経済教育の実態
- 鈴木 勝康 生命保険文化センター代表理事、帝京大学法学部教授
若年層（大学生と若年社会人）に対する金融教育
- 深田 一政 日本損害保険協会常務理事
日本損害保険協会における若年層（大学生・若年社会人）への金融教育
- 大島 大 金融庁 総務企画局 政策課 政策管理官
高齢者に対する金融教育

女性のケース

- マイルズ・ラービー オーストラリア証券投資委員会、金融教育グループ長
女性と金融リテラシー

コメンテーター

- アンナ・ゼレンツソーバ ロシア財務省金融リテラシー・グループ長、金融包摂に関するグローバル・パートナーシップ共同議長

論点 金融経済教育の目的は、金融リテラシーの向上を通じて、国民一人一人が経済的に自立し、より良い暮らしを送っていくことを可能とするなど、公正で持続可能な社会の実現にも貢献していくことにある。本セッションでは、日本における、

- ・ 中等・高等教育
- ・ 大学生
- ・ 若手社会人
- ・ 高齢者

の各年齢層に対する金融経済教育の取組みを紹介し、期待される効果について議論する。また、女性に対する金融教育について、オーストラリアの事例を紹介する。

1月23日（金）

10:00 – 10:20

特別講演

岩田 規久男 日本銀行副総裁

10:20 – 11:50

セッション4

『アジアにおける金融包摂、金融規制と金融教育』

モデレーター

ガネシャン・ウィグナラジャ アジア開発銀行研究所研究部長

スピーカー

- ムリヤマン・D・ハダド インドネシア金融庁 理事長
- サイド・アハメッド パキスタン中央銀行 農業金融・マイクロファイナンス局長
パキスタンにおける金融教育を通じた金融包摂の進展
- アティ・プルーデンス・アンジェリタ・A・カサラ フィリピン中央銀行 金融消費者保護局長
Save now or pay later : フィリピンにおける金融包摂と金融教育
- ニュエン・ヴィン・ハン ベトナム国立銀行 国際局次長
- ニチャヤー・コソルウォン 金融庁アジア金融連携センター研究員
タイ証券取引委員会による資本市場へのアクセス促進

論点

本セッションでは、アジアの新興国において、金融包摂、金融規制、金融教育がどのように消費者や中小企業に力を与え支援できるかについて考える。特に、金融教育によってどのように人々が金融サービスをより効果的に利用できるようになるか、以下の点に焦点をあてて議論する。

- ・アジアの国々の農村部における金融包摂
- ・高利貸しに対する金融規制
- ・アジアの中小企業に対する金融教育と金融包摂

11:50 – 12:50

セッション5

パネル・ディスカッション

モデレーター

吉野 直行 アジア開発銀行研究所所長、金融庁金融研究センター顧問

パネリスト

- 齋藤 聡 日本銀行情報サービス局金融広報課長
- フロレアン・メッシー OECD 金融企業局金融課課長代理、OECD/INFE 事務局長
- マイルズ・ラービー INFE 諮問委員会
- ニュエン・ヴィン・ハン ベトナム国立銀行 国際局次長

論点

この最終セッションでは、当シンポジウムでの議論の中から各国が金融教育を推進していくうえで鍵となるメッセージをまとめ、政策立案者の行動を促していく。

12:50 – 13:00

閉会挨拶

玉木 林太郎 OECD 事務次長